



二輪草だより

平成27年8月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定 ◆9月18日 第22回二輪草セミナー開催
◆9月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより9月号発行

夏休みキッズスクール終了報告

平成27年7月27・28日の二日間に第15回夏休みキッズスクールを開催し、初参加6名を含む総勢28名の子ども達が参加しました。開校式で元気に「二輪草キッズのテーマ」を歌い、キッズスクールのはじまりです！

最初のプログラムは皮膚科学講座の岸部麻里先生による「からだを守る～肌の働き」と題する特別授業です。身体の表面にある皮膚の働きや、バイ菌や紫外線から身体を守る仕組みなどスライドを使いながら解りやすく説明してくださいました。自分で日焼け止めクリームを塗る練習もして楽しく学ぶことが出来ました。その後は、新しくなった旭川医大の図書館見学に行きました。市立図書館や学校の図書室と違う雰囲気 に少し緊張気味の子ども達でしたが、電動書架を見たり、自動貸出機や返却作業など普段出来ない体験を楽しんでいました。昼食はサンドイッチ・バイキング！タマゴやハムやサラダ、焼きそばなど好きな具材を取って、オリジナルのサンドイッチを作ります。他にもザンギやポテト、フルーツなどもあり、みんなで美味しく食べました。午後からは「ぬいぐるみ病院プロジェクト」の学生による特別授業が行われました。「猛暑から肌を守るためには！？」という劇では、紫外線や熱中症の予防の仕方などユーモアを交えて楽しく教えてください「あせのでるしくみ講座」では汗について楽しく学びました。手の感覚を楽しむ「箱の中身はなんだろう？！ゲーム」でも大いに盛り上がり、キッズスクールの一日目は終了しました。



第二日目、午前中は旭山動物園見学です。まずは飼育員の佐賀さんにキリンの寝室とカバの寝室を見せて頂きました。普段は入れないバックヤードにドキドキしながら、キリンやカバの迫力を身近に感じる事が出来ました。その後グループに分かれて見学し、最後はモルモットとふれあい体験をして帰路につきました。



午後は工作で、動物園で見てきた動物のモビールを作りました。好きな動物を選んでハサミで切り取り、糸で吊るし枝に結びます。糸を通すのもバランスを取るのもなかなか難しく苦労していましたが、全員上手に作る事が出来ました。



その後はお待ちかねのクレープ作りです！生クリームと美味しいフルーツを包んでパクリと食べ、大満足の笑顔でした。

最後に、閉校式で校長先生に終了証をもらい二日間のキッズスクールは終了しました。

今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。お忙しい中、16名の学生が参加して下さいました。事前の準備や後片付けを含め積極的にお手伝い頂き、子ども達と楽しく過ごして頂いた事に心から感謝致します。また、藤井智子教授をはじめ、いつも快く開催場所をお貸し下さる看護学講座の諸先生方、ご理解・ご協力を頂いております各部署の皆様にも心よりお礼申し上げます。

***** 第22回二輪草セミナー開催のお知らせ *****

日時:平成27年9月18日(金)18:00~19:00

場所:臨床講義棟 臨床第3講義室

対象:全職員・学生・研修医・医師



「Targeted Therapy for Childhood Cancers -Bedside to Bench to Bedside-」



講師:佐竹 典子先生 (University of California Davis 小児科)

☆海外で活躍中の1990年 本学卒業生の特別講演!!

学生や若い医師の参考になるお話をさせて頂きます

託児あります。(事前予約)二輪草センターまでご連絡下さい(9月15日締切)

第21回二輪草セミナー終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当 看護師 菊地 美登里

7月24日(金)、二輪草セミナーを開催しました。「知っていますか輝くナース」シリーズは、今回でPartIVになります。今回のテーマは『熟練看護師が語る 再発見！看護という仕事の魅力』としました。長く看護師を続けている3人の熟練看護師から「看護」の仕事の魅力や秘訣についてお話いただきました。参加者は25人ほどでしたが、多くの人に聞いてほしいメッセージが満載でした。



最初に、外来総合診療部看護師遠藤久枝さんは、3人のお子さんを育てながら看護師を続けてきた体験をお話し下さいました。

遠藤さんは、プチ自慢と言いながら趣味でもあるイラストの特技を生かし、PPE着脱表示のステッカーを作成したこと、総合診療部の設立から関わるなかで、身体と心のトライアージが重要と感じトライアージ用紙の作成や体

制づくりに取り組んできたこと、最初はなりたい職業ではなかったが、今では「看護師でよかった」と思っていること、総合診療部の看護は自分自身の看護の集大成であると、熱く語ってくれました。

次に、NICU看護師本村あゆ美さんは看護師になって22年、小児科やNICUでの看護経験から得たことや看護の魅力についてお話下さいました。1つ目は、患者家族と共につらい時期を乗り越えその喜びを分かち合える仕事であること、2つ目は、患者・家族にとってよりよい支援のために、看護師ひとりひとりが知恵を出しチームで取り組むことができる仕事であること、3つ目に、他者との関わりでお互いに影響を与え学んでいける仕事であることが話されました。本村さんのお話から人との関係を大切にしてきたことが伝わりました。

最後に、10階東病棟副看護師長九鬼智子さんからは、3人のお子さんを育てながら、多くの分野の看護を30数年続けてきたことが紹介されました。家族や仲間の支えがあり子育てのつらい時期を乗り越えられたこと、我が子のケア＝看護ケアであり、そこには相互信頼と成長がある。多くの人との出会いが自分を成長させてくれたこと、現在は学士をめざし学生気分を満喫しており、人生は常に向上心を持って楽しむことと締めくくってくれました。

3人のお話に通じていたのは、①仕事を続けるためのチャンスや方法を逃さず自分のものにしていくこと②肩に力を入れ過ぎず家庭と仕事を両立させていくこと③常に向上心をもっていることであり、「看護とともに」成長し今の自分があるとのメッセージが伝わってきました。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【7月20日～8月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	15回	稼働回数	15回
病児・病後児保育室	依頼回数	16回	利用回数	12回
カウンセリング相談			利用回数	0回

*病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

